



IELTSTM

サポートツール

Helping you get ready for test day



IELTSTM
Official Test Centre

JSAF IELTS

www.jsaf-ieltsjapan.com





世界への扉を開くIELTSテスト

本冊子には、IELTSテストの概要が記載されており、準備に役立つツールやアドバイスが含まれています。

目次

▼	
なぜIELTSを選ぶのか？	3
2つのテストタイプ	4
2つのテストフォーマット	5
どちらのフォーマットで受験する？	6
IELTS 9段階評価	7
試験のヒント	8
• ライティングテストのヒント	8
• リーディングテストのヒント	9
• リスニングテストのヒント	10
• スピーキングテストのヒント	11
英語能力の評価方法	12
• スピーキングテスト評価基準	13
• ライティングテスト評価基準 タスク1	14
• ライティングテスト評価基準 タスク2	15
ペーパーで受験するIELTS 解答用紙の記入方法	16-19
コンピューターで受験するIELTS 解答方法	20
スピーキングテストのサンプル	21
IELTS受験前のチェックリスト	22
テスト当日の流れ	23
結果の受け取り	24
お近くのテスト会場の検索	25
試験準備に役立つ情報	26
グローバルコミュニティに参加	27

IELTS (International English Language Testing System) は、英語圏における就学や就労を希望される方の英語能力測定を目的として考案された試験です。

IELTSは、世界140カ国以上の11,000を超える大学、企業、職能団体、移民局、その他の政府機関などで世界各地の9,000を超える組織が認定し、採用されています。IELTSスコアを採用している団体リストは、<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/> にてご確認ください。



利便性

IELTSは140以上の国の1,200以上の会場においてひと月に最大4回実施されています。お住いの地域の試験日については最寄りのIELTSテストセンターにお問い合わせ下さい。JSAFのIELTS開催地の一覧は、<https://jsaf-ieltsjapan.com/> にてご確認ください。

グローバルなテスト

IELTSの試験問題は、国際性に重点を置き作成されています。たとえば、テキストやタスクは、英語圏各地の出版物から引用されており、リスニングテストではさまざまなネイティブスピーカーのアクセント(北アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなど)が使用されています。また、筆記テストおよびスピーキングテストでは各国の多様性を尊重した解答が認められています。

信頼性のあるテスト

IELTSは、言語評価における世界でも有数の専門家によって開発されており、徹底的な研究、検証、開発プログラムによって高い信頼性を実現しています。

テストのレベル

IELTSは、幅広いレベルで英語のスキルを評価するように設計されています。IELTSに合格や不合格というものはありません。結果は、1(最低)~9(最高)までの段階評価で示されます。

コンピューターで受験するIELTS

ペーパー又はコンピューターで受験するかを選ぶことができます。

コンピューターで受験するIELTSはより多くのテスト日や時間帯が設定されているため、ご都合のよい日時を選択することができます。

・試験結果はテストの3~5 営業日後

・対面式のスピーキングテスト

コンピューターで受験するIELTSを実施しているテストセンターや、ご予約方法など、より詳しい情報は<https://jsaf-ieltsjapan.com/> でご確認ください。

IELTSバンドスコア基準

9	エキスパートユーザー
8	非常に優秀なユーザー
7	優秀なユーザー
6	有能なユーザー
5	中程度のユーザー
4	限定的ユーザー
3	極端に限定的なユーザー
2	散発的ユーザー
1	非ユーザー
0	受験放棄

コンピューター又はペーパーで受験するかを選ぶことができます



IELTS for UK Visas and Immigration

英国ビザ取得および移住を目的にIELTSを受験される場合は、[IELTSSessentials.com/uk](https://ieltsessentials.com/uk)を予めご確認ください。英国への渡航や滞在に関する詳細は、www.gov.ukをご覧ください。

2つのテストタイプ



テスト申込前に、IELTSアカデミックとIELTSジェネラル・トレーニングの違いを理解する

IELTSには、アカデミック(Academic)とジェネラル・トレーニング(General Training)の2種類のバージョンがあります。IELTSを採用する各機関は、通常、どちらのバージョンのIELTSが申請に必要なかを指定しています。アカデミック、ジェネラル・トレーニングのいずれも受付けている機関もあります。どちらを受験すべきか不明な場合は、申請先の機関に連絡して要件を確認してください。

アカデミックとジェネラル・トレーニングの両方とも、障がいを経験した免除以外、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのスキルがテストされます。4つのスキルのうちリスニングとスピーキングはIELTSアカデミックとジェネラル・トレーニングテストで共通ですが、リーディングとライティングの問題は異なります。

リスニング、リーディング、ライティングのテストは、必ず一日で完了します。但し、各テストの順番が異なっている場合があります。コンピューターで受験するIELTSはリスニング、リーディング、ライティングテストの順番です。ペーパーで受験するIELTSの順番はライティング、リーディング、リスニングの順番になります。スピーキングテストは、他の3つのテストと同日又は前後7日間以内に行われます。

下記のチャートはペーパーで受験するIELTSの順番となります。



* リスニングとスピーキングの構成は、IELTSアカデミックとIELTSジェネラル・トレーニングで同一です。

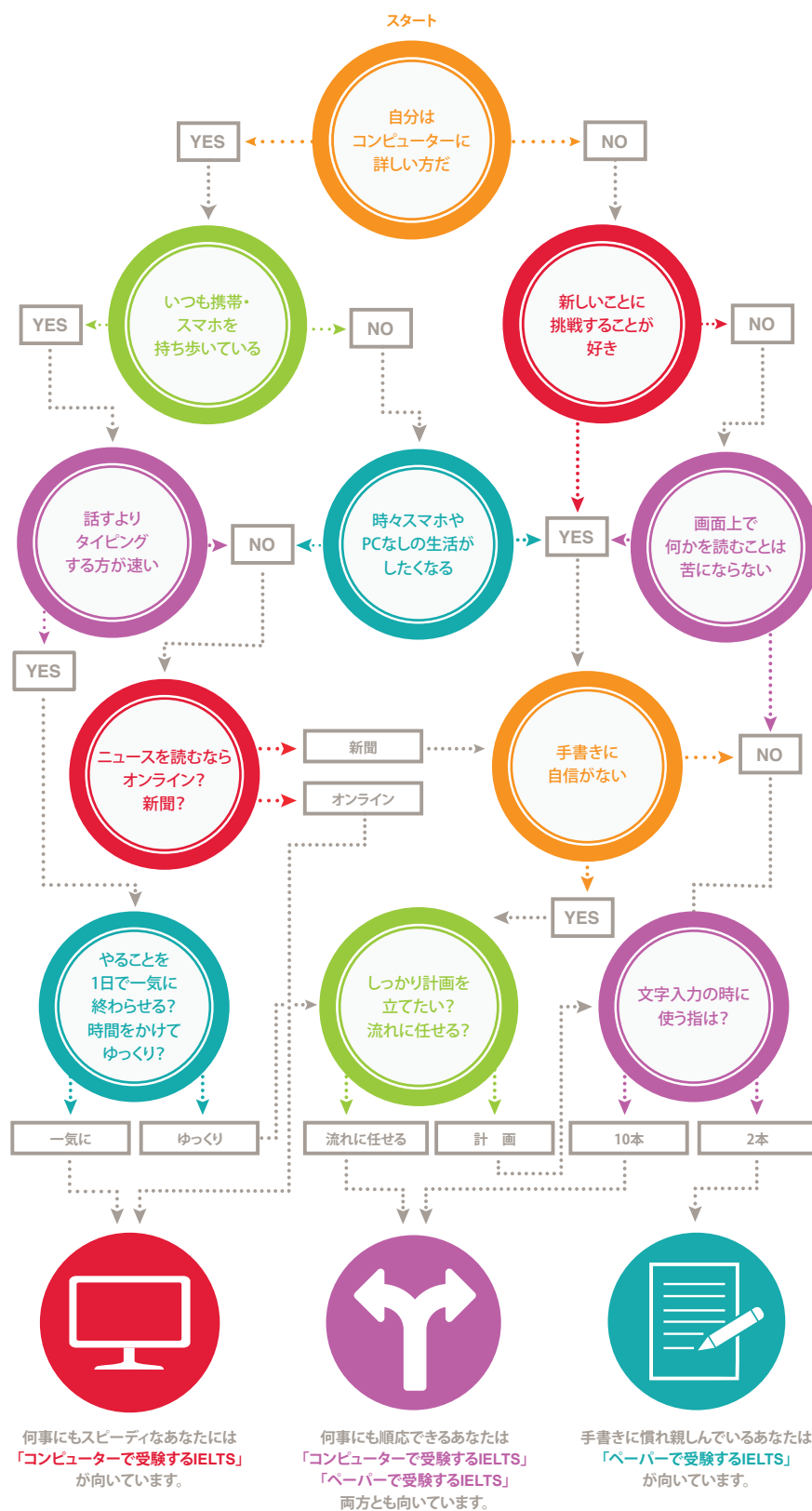
2つのテストフォーマット (ペーパーまたはコンピューター)

コンピューターまたはペーパーのどちらでIELTSを受験しても、IELTSが世界で認められた高い信頼性のある英語能力テストであることに変わりありません。どちらのフォーマットのIELTSも試験内容、試験時間、質問タイプ、採点基準、あらゆる不正行為を防止するためのセキュリティ、対面式のスピーキングテスト、成績証明書は同じです。コンピューターで受験するIELTSは試験結果が早く受け取ることが出来ます。



	コンピューターで受験する IELTS	ペーパーで受験する IELTS
試験方法	リスニング  リーディング  ライティング  スピーキング  (試験官と対面式)	ライティング  リーディング  リスニング 
試験結果	試験日から3～5営業日後	試験日から13日後
申込方法	https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/application/ からは  コンピューターのアイコンをクリックして予約	https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/application/ からは  ペーパーのアイコンをクリックして予約
試験時間	リスニング (30分) ※ リーディング (60分) ライティング (60分) スピーキング (11～14分) ※リスニングテストの最後に2分間の見直し時間があります。	ライティング (60分) リーディング (60分) リスニング (40分) ※ スピーキング (11～14分) ※リスニングテストの最後の解答転記時間10分を含みます。

どちらのフォーマットで受験する？ ペーパーそれともコンピューター？



コンピューターで受験するIELTSについての詳しい情報は
<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/cdielts/>

IELTS

9段階評価



IELTSの成績は4つのスキル(リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング)ごとに、1(最低)から9(最高)の段階評価で示されます。各スキル毎の個別バンドスコアと総合評価としてのオーバーオール・バンドスコアは、0.5刻み(例えば、6.0、6.5、7.0、7.5など)で示されます。

9	エキスパートユーザー	英語を自由自在に使いこなす能力を有する。適切、正確、流暢、完全な理解力もある。
8	非常に優秀なユーザー	不正確さや不適切さがみられるが、英語を自由自在に使いこなす能力を有している。慣れない状況下では誤解が生ずる可能性もある。込み入った議論にも対応できる。
7	優秀なユーザー	不正確さや不適切さがみられ、また状況によっては誤解が生ずる可能性もあるが、英語を使いこなす能力を有する。複雑な言葉遣いにも概ね対応でき、詳細な論理を理解できる。
6	有能なユーザー	不正確さ、不適切さ、誤解もみられるが、概ね効果的に英語を使いこなす能力を有する。特に、慣れた状況下では、かなり複雑な言葉遣いの使用と理解ができる。
5	中程度のユーザー	不完全だが英語を使う能力を有しており、ほとんどの状況でおおまかな意味を把握することができる。ただし、間違いを犯すことも多い。自身の専門分野では、基本的なコミュニケーションを取ることが可能。
4	限定的なユーザー	慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁にみられる。複雑な言葉遣いはできない。
3	非常に限定的なユーザー	非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができる。コミュニケーションの断絶が頻発する。
2	散発的ユーザー	慣れた状況下で、その場の必要性に対処するため、極めて基本的な情報を片言で伝える以外、現実的なコミュニケーションをとることは不可能。英語の会話や文章を理解することは困難である。
1	非ユーザー	単語の羅列のみで、基本的に英語を使用する能力を有していない。
0	試験放棄	必要情報が提供されていない。

ライティング テストのヒント



ライティングテストの形式 – IELTS アカデミック:60分

2つのパートに分かれています。タスク1とタスク2に対する解答は、アカデミックかつセミフォーマルかつニュートラルな文体で記述する必要があります。

タスク1: グラフ、表、図を提示され、情報を要約して自分の言葉で説明するように求められます。データの選択と比較、プロセスの説明、オブジェクトの説明、または何かがどのように作用するかを説明します。

タスク2: 意見、論点、問題についてエッセイを書くことを求められます。タスク2は、タスク1の2倍の配点になります。

問題は、学部や大学院に進学したり、職業登録を希望する受験者向けの一般時事で、容易に理解できる内容です。

ライティングテストの形式 – IELTSジェネラル・トレーニング:60分

2つのパートに分かれています。一般時事がテーマです。

タスク1: 与えられた状況にあわせて、情報を要求したり、状況を説明する手紙を書くように求められます。手紙は、個人的なものである場合もあれば、セミフォーマル、フォーマルな文体を求められる場合があります。

タスク2: 意見、論点、問題についてエッセイを書くように求められます。エッセイは、アカデミックライティング・タスク2と比較すると、個人的で、改まった文体は求められません。タスク2は、タスク1の2倍の配点になります。

ヒント

- ライティングテストでは、解答や意見に正解や不正解がありません。試験官は、皆さんが英語を使用して情報を報告したり、考えを表現することへの習熟度を評価します。
- 質問を慎重に分析し、質問でカバーされているすべての点について解答中で答えるようにします。
- 最低字数制限に注意してください。タスク1で150字未満、タスク2で250字未満で書くと、減点されます。
- 試験官は、質問からそのまま書き写した単語を字数としてカウントしないため、自分の言葉を使用するように注意してください。
- 両方のタスクは、メモ形式や箇条書きではなく、完全な文章の形で書く必要があります。段落の中で意見を順序立てて説明し、論点と根拠が示されているかどうか問われます。
- 筆記試験で高スコアを取るために、長い文章を書く必要はありません。文章が長すぎると、一貫性がなくなり、文法のコントロールが難しくなります。
- アカデミックライティング・タスク1では、グラフ、表、図に表示されたデータから関連情報を選択して比較する必要があります。導入部では、質問から文章をそのまま書き写さないでください。自分自身の言葉を使いましょう。データの解析や根拠を挙げる必要はありません。事実に基づいた解答を心がけましょう。
- アカデミックライティング・タスク2ではエッセイを書きます。書き始める前に、エッセイの構成を考えるようにしてください。導入部、根拠や意見の裏付けとなる考え、論旨を説明するための実例、論説した情報に基づいた結論を書く力が問われます。
- タスク2の論文を書く時間は40分間です。書き始める前に、解答を整理するために最大5分を費やしましょう。また、最後に5分程度を残し、解答を見直して間違いをチェックしてください。
- アカデミックライティング・タスク2のエッセイでは、見解や視点を可能な限り明確にしてください。最後の段落では、それまでに書かれている論旨と一致する結論を示さなければなりません。
- ライティングテストの模範解答の丸暗記は役に立ちません。試験官は、解答が質問のテーマと一致しないことにすぐ気づきます。
- 多くの受験生が単数形と複数形の名詞を混同する傾向にあります。たとえば、多くの名詞は複数形にする場合、「students」「journals」「articles」「issues」のように、「s」を付け加えます。筆記する際にはこの点に注意しましょう。
- 単語の綴りに注意してください。標準的なアメリカ、オーストラリア、イギリスのスペルはIELTSでは許容されています。

リーディング テストのヒント



リーディングテストの形式 – IELTS アカデミック:60分

3つのセクションに分かれており、各セクションには長文が一つ含まれています。

リーディングテストの文章はすべて実際に使用されている書籍、雑誌、新聞からの抜粋です。テーマは、専門家向けではなく、専門知識を有しない一般向けの内容です。また、幅広い学術的な事柄のため、高スコアを取るために専門知識は必要ありません。

リーディングテストの文章は、大学または大学院に進学する方、または就労を希望する受験者にも適した内容です。

リーディングテストの文章は、説明的で事実を述べるものから、推論的で分析を要するものまで様々です。文章には、表、グラフ、イラストなどの非言語的な要素が含まれる場合があります。

文章に専門用語が含まれる場合、簡単な注釈がつけられます。



リーディングテストの形式 IELTSジェネラル・トレーニング:60分

試験は3つのセクションに分かれています。

セクション1: 2～3の短い事実に即した文章から出題されます。そのうちの1つは複数の文章が混合されています(例えばホテル広告など、テーマに関連した6～8の短い文章で成り立っています)。テーマは、英語圏の国での日常生活に関するものです。

セクション2: 仕事関連(例:応募、会社の方針、賃金と就業条件、職場施設、職員の育成とトレーニング)に焦点を当てた2つの短い文章から出題されます。

セクション3: 一般的なトピックを扱った、比較的に長めで複雑な文章から出題されます。

どのセクションも、実際に使用されている掲示や、広告、会社のハンドブック、公的文書、本、雑誌、新聞などからの文章の抜粋です。

ヒント ▼

1. リーディングテストのスコアを上げるには、さまざまな英語のテキストを読む練習が必要です。これにより、速読能力の向上に役立ちます。
2. まず、すべての質問を注意深く読んでから、文章を読んでください。これにより、答えを導くのが容易になります。読み進む中で正解と思う回答にアンダーラインを引きます。
3. 文章を読むにあたりおおよその内容を把握するためにまず文章全体にざっと目を通します。分からない言葉について気にする必要はありません。次に、各質問をもう一度読んで、文章のどの部分を精読する必要があるかを決めます。
4. 読解文章中には、質問に答えるために必要な情報が必ず含まれています。テーマに関する自分の知識を使用する必要はありません。
5. 質問や読解中の文章から単語をそのまま答えに使用の場合は、正確なスペルでなければならないことに注意してください。
6. リーディングテストには、文章の全体的な理解を確認する質問が含まれることがあります。例えば、ある文章のテーマが何であるかを質問されたりします。各文章の主旨の理解に役立つよう、各段落のキーワードや要点に下線を引くようにしてみてください。
7. 読む際には、キーワードを丸で囲んでください。たとえば、読解文章中に地名や日付がたくさん含まれる場合には、読み進む途中で丸で囲んでください。そうすることで、後で質問に出てきた場合、細部を見つけやすくなります。
8. 表にラベルを付けるように求められた場合は、必要な単語がテキストに含まれています。テキストからスペルを間違えないように慎重にコピーしてください。
9. 解答できない質問がある場合、それらを飛ばして次の質問に進みます。これにより、慌てる事無く次の問題に進むことができます。時間が余った場合、最後にそれらの質問に戻ります。
10. リーディングテストの解答は、質問用紙ではなく、解答用紙に記入してください。最後に解答を転記する時間はありません。(コンピューターで受験するIELTSでは解答は直接コンピューターに入力します。)



リスニング テストのヒント



リスニングテストの形式: 30分

リスニングのパートは、IELTS(アカデミックとジェネラル・トレーニング)のどちらのバージョンでも同じで、4つのセクションに分かれています。音声は一度だけ流されます。さまざまな登場人物の会話やネイティブスピーカーのアクセントが使用されます。

セクション 1: 日常生活における2人の人物による会話(宿泊施設の予約など)。

セクション 2: 日常生活におけるモノローグ(例 地域の施設に関する描写、または会議の食事の手配に関する説明など)。

セクション 3: 教育や研修現場での最大4人の会話(例 課題を議論し合う大学教授と学生、またはプロジェクトを計画するグループ内での議論)。

セクション 4: 学術的なテーマに関するモノローグ(例 大学の講義)。

ヒント

1. 各セクションの開始時、音声が始まる前に、そのセクションの質問を慎重に読んでください。これにより、問題の流れが理解でき、答えを導くのに役立ちます。
2. セクションの終了後は、直前のセクションについてあれこれ心配せず、気持ちを切り替えて次のセクションの質問を読みましょう。
3. 解答を選択肢から選ぶ場合もあります。候補となる解答は、アルファベット順に並べられていることがあっても、必ずしも問題の中で順番に出てくるとは限りません。
4. 字数制限に注意してください。「2語以上の単語を書かないこと」という指示がある場合に2語以上の単語を書いてしまうと、たとえその中の単語が正しい場合であっても、不正解になります。
5. 質問の中で、キーワードまたは同義語(別の単語と同じ、もしくは、ほぼ同じ意味を持つ単語)を聞き取るようにすると回答を導きやすくなります。たとえば、「彼女はジムに行ってテニスをするのが好きです」というフレーズがあったとします。回答では「彼女は活発な人です」というようになります。
6. 音声の中で単語の綴りが読み上げられ、それを書き取る問題があります。正答するには、英語のアルファベットとそれぞれの文字がどのように発音されるかを知っておく必要があります(たとえば、「W」は「double-u」と発音されます)。
7. 音声のどの部分を聞いているのかを示す単語を慎重に聞きとってください。例えば「まず第一に」「次のポイントは」「要約すると」などを注意して聞き取りましょう。
8. 音声を聞きながら、該当しない選択肢を消去することにより正答を絞り込みやすくなります。
9. 日付を解答として記入する問題の場合は、正しい記載方法が複数あることを念頭に置いてください(24th April, April 24, 24 Aprilはすべて正しい)。
10. 答えられない問題がある場合には飛ばして次の問題に進みましょう。そうすることでパニックにならずに済みます。最後に時間が残った場合、それらの問題に戻りましょう。
11. 最後の音声が始まった後、リスニングの問題用紙から解答用紙に解答を転記する時間が10分あります。セクションの合間に解答を解答用紙に転記しないほうがいいでしょう。次のセクションの試験の重要な情報を聞き落としてしまう可能性があります。セクション4の終わりまで待って解答を転記してください。(コンピューターで受験するIELTSでは解答は直接コンピューターに入力します。)

スピーキング テストのヒント



スピーキングテストの形式: 11~14分

スピーキングテストの内容は、IELTS(アカデミックとジェネラル・トレーニング)の両方のバージョンで同じです。3つのパートで構成されています。テストは録音されます。

パート1: 自己紹介とインタビュー(4~5分)。試験官の自己紹介の後、皆さん自身の自己紹介をするように促され、本人確認が行われます。試験官は、身近なテーマ(家族、仕事、研究、興味など)に関する一般的な質問をします。

パート2: スピーチ(3~4分)。試験官から、特定のテーマについてのタスクカードが渡されます。このタスクカードには、スピーチの中でカバーできるポイントも含まれています。準備時間が1分与えられ、メモ用に鉛筆と紙が渡されます。テーマについて1~2分間話します。試験官は、そのテーマについて1つか2つの質問をします。

パート3: ディスカッション(4~5分)。試験官は、パート2のテーマに関連するその他の質問をします。受験者は、より一般的な問題と意見について述べる機会が与えられます。

ヒント

1. スピーキングテストまでに、友人と、職場で、または電話で英語を練習する時間を取ってください。また、試験中に自信を持って英語を話せるように、自分のスピーチを録音して聞いてみましょう。
2. スピーキング試験には、正解や不正解はありません。試験官は受験生が自分の考えや意見を英語でいかにうまく表現できるかを評価します。
3. 友人と話していると想像すれば、リラックスできます。意見そのものではなく、英語の使い方が評価されることを念頭においてください。
4. 試験官の質問で使用された言葉を繰り返さないようにしてください。自分の言葉を使い、力を発揮しましょう。
5. 自然なペースで、はっきりと話しましょう。あまりにも速く話すと、間違えたり、誤った発音をしてしまうことがあります。
6. 可能な範囲で詳しく回答してください。「はい」「いいえ」だけの回答は避けてください。それぞれの質問に対し、自分自身の経験を話し、例も挙げたりして、詳しく回答するようにしましょう。試験官は、様々な話題について詳しく話すことができるかどうかを聞き取ります。
7. スピーキング試験では、正しい時制を使用してください。質問に注意深く耳を傾け、動詞のどの時制が使用されているかに注意を払ってください。たとえば、その質問が「どのような種類の音楽が好きですか?」(現在形)ならば、回答も現在形でなければなりません。(例「ポップミュージックが一番好きです」)。長い回答の場合には他の時制を使っても構いません。例「ずっとその音楽が好きだった訳ではありませんが」。
8. はっきり意味が分かるように、数字の発音を練習してください。たとえば、多くの数字は発声したときと非常によく似ているため、はっきり言うようにしてください。「Thirty」と「Thirteen」、「Forty」と「Fourteen」、「Fifty」と「Fifteen」など。
9. あまり理解していない難解な語彙を使うよりも、一般的に使われているシンプルな語彙を正確に使うようにしましょう。しかしながら、高スコアを得るためには、より難解な語彙の使用方を理解していることを示す必要があります。
10. パート2では、試験官からタスクカードと紙が渡されます。回答準備時間は1分です。まずテーマについて考え、そして回答内容に最も適した時制を決めてください。カードの質問と同じ時制を使用する必要があります。
11. できるだけ丁寧に回答し、答えの理由も挙げてください。これは、幅広い語彙や文法を使用するのに役立ちます。



英語能力の 評価方法



IELTS テストには合格、不合格がありません。結果は、英語使用能力のレベルを表します。

9段階評価システム



IELTSは、9段階評価システムで試験結果を測定します。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのスキルの個別スコアと総合的なオーバーオール・バンドスコアが1(最低)から9(最高)までの0.5刻みで示されます。

公正な採点



試験官は、受験生の個人的な詳細(以前に試験を受けていれば以前のスコアを含む)を見ておりませんので、成績を匿名で公正に採点することが担保されています。また、試験のセクション毎に異なる試験官が採点を行います。

高い基準をクリアした試験官による採点



皆様の試験結果は、高い基準をクリアした経験豊富な英語の専門家である試験官が評価します。評価は明確な基準に沿って行われ、広範かつ詳細なクオリティコントロールが行われています。

グローバルな評価基準



IELTSテストは、世界中で使用されている統一評価基準によって採点されています。国によって、高い段階評価を受け取る可能性は全くありません。

コンピューターまたはペーパーのどちらの形式で受験しても
世界で広く知られ、認知度・信頼度の高い英語能力テストを
受験していることに変わりありません。

スピーキング評価基準

段階評価	流暢さと一貫性	語彙力	文法知識と正確さ	発音
9	- 繰り返しや言い直しをほぼすることなく流暢に話し、言いどむ際は、言葉や文法を考えるというより、内容が理由の場合のみである。 - 最も適切な接続詞を使用して理路整然と話すことができる - テーマを幅広く適切に展開できる	- 全てのテーマにおいて、非常に柔軟かつ正確に語彙を使用できる - 熟語を自然かつ正確に使用できる	- 様々な構文を自然にかつ適切に使いこなすことができる - ネイティブスピーカーの会話に見られるような「うっかり」を除き、総じて正確な構文が使用できる	- 幅広い発音の特性を正確かつ巧妙に使用できる - 特性を一貫して柔軟に使用できる - 無理なく理解できる
8	- 時折繰り返しや言い直しをするが流暢に話し、言いどむ際は、言葉や文法を考えるというより、内容が理由の場合のみである。 - テーマを理路整然と適切に展開できる	- 正確な意味を伝達するために幅広い語彙をすぐに柔軟に使用できる - 不正確さも数見られるが、一般的でない熟語もうまく使いこなすことができる - 必要に応じ言い換えができる	- 様々な構文を柔軟に使用できる - 不適切さや軽微な／非体系的な間違いがまれに見られるが、総じて間違いのない文章を話すことができる	- 幅広い発音の特性を使用できる - 特性を柔軟に使用できるが、時おりうっかり間違えることもある - 無理なく理解でき、L1 アクセントが明瞭さに与える影響はほぼない
7	- 目立った努力を行わずもしくは一貫性を失わずに詳細に話すことができる - 言葉が理由で時折言いどむことがあるが、繰り返しや言い直しがある - 幅広い接続詞や談話標識、文と文との論理的関係を示すことば、柔軟に使用できる	- 様々なテーマを論じる際に柔軟に語彙を使用できる - 一般的でない熟語も使用でき、表現や単語同士の組み合わせにも配慮できるが、不適切な選択をする場合もある - 必要に応じ効果的に言い換えを行える	- ある程度の柔軟性を持って幅広い複雑な構文を使用できる - 間違いの全くない文章を話せることも多いが、文法エラーは依然として存在する	バンド6の全てのプラスの特徴と、バンド8のプラスの特徴を部分的に備えている
6	- 時折繰り返し、言い直し、ためらいが見られ、そのため一貫性を失うことがあるものの、すくなく詳細に話す - 幅広い接続詞や談話標識を使用できるが、不適切な使用もある	- テーマについて詳細に論じることができ、幅広い語彙力を持っており、不適切な場合でも意味を明確にすることができ - 概ね正しく言い換えができる	- 柔軟性に欠けるが、簡単な構文と複雑な構文の両方を使用できる - 複雑な構文では間違いも多いが、理解に支障の出るようなことはめったにない	- 幅広い発音の特性を使用できるが、コントロールは不安定 - 特性を効果的に使用できる場合もあるが、一定していない - 概ね理解しやすいが、個々の単語の発音の間違いや不明瞭な音が時おり混じる
5	- 通常は途切れることなく話せるが、繰り返し、言い直しや、ためらいが見られ、かつ／または、話し続けようとするスピードが落ちる - 特定の接続詞や談話標識を過度に使用する - 簡単な話は流暢だが、複雑なコミュニケーションとなると流暢さに問題がみられる	- 身近なテーマ、そうでないテーマについても話すことができ、言葉の使用は柔軟性に欠ける - 言い換えが正しくできるときとそうでないときがある	- ある程度の正確さで基本的な構文を作成できる - 複雑な構文の使用は限定的で、たいいてい間違いが含まれており、理解の障害となることもある	バンド4の全てのプラスの特徴と、バンド6のプラスの特徴を部分的に備えている
4	- 顕著な間隔なしには受け答えができず、話す速度が遅く、繰り返しや言い直しが多々ある - 基本的な文章をつなげることができるが、簡単な接続詞を多用し、一貫性が維持できない	- 身近なテーマについては話すことができるが、そうでないテーマは基本的な意味のみ伝えることができる - 言葉の選択にも間違いが多い - 言い換えはめったにしない	- 基本的な構文を作成でき、単純な文章には間違いがないが、複文構成はめったにない - 間違いも多く、誤解につながることもある	- 発音の特性の使用は限定的 - 特性をコントロールしようとするが、よく失敗する - 発音の間違いが多く、聞き取りが困難な場合もある
3	- 途切れ途切れに話す - 簡単な文章をつなげる能力に限界がある - 簡単な受け答えのみができ、基本的なメッセージを伝えることさえもできないことが往々にしてある	- 個人的情報を伝える際に簡単な語彙を使用できる - 余り身近でないテーマについては、語彙不足である	- 基本構文を試みても困難であったり、明らかにうろ覚えの表現に頼ってしまう - 暗記表現以外は、間違いが非常に多い	バンド2のいくつかの特徴と、バンド4のプラスの特徴を部分的に備えている
2	- 言葉の前にたいいてい長い長い間隔があく - コミュニケーションがほとんど取れない	片言もしくは覚えた言葉のみを話す	基本構文を作成できない	話し言葉が不明瞭なことが多い
1	- コミュニケーションが全く取れない - 評価できる言語を発しない			
0	受験をしていない			
IELTSは、British Council、IDP、IELTS Australia、Cambridge English Language Assessmentの共同所有です。				

ライティング評価基準 — タスク1

段階評価	課題の達成度	一貫性とまとまり	語彙力	文法知識と正確さ
9	- 課題の要件を完全に満たしている - 詳細説明を含む回答が明確に記述されている	- 目立つことなく自然に接続詞を使用している - 段落分けをうまく行っている	幅広い語彙を単語の特徴を生かして自然かつ流練された方法で使用でき、軽微な誤りがまれにだけ起こり起こる	様々な構文を非常に柔軟かつ正確に使いこなすことができ、まれに軽微な誤りがうっかり起こる
8	- 課題の要件を十分にカバーしている - 明確かつ適切に重点 / 要点を記述、強調、説明できている	- 情報や意見を論理的に配置している - 全ての観点から文章を上手にまとめている - 段落分けを十分かつ適切に行っている	- 正確な意味を伝達するために幅広い語彙を流暢かつ柔軟に使用できる - 一般的でない語句をうまく使用できるが、単語の選択や組み合わせに時おり不適切さがみられる - 単語のスペルや語形成、またはその両方に間違いがほとんどない	- 様々な構文を使用できる - 綴じで間違いのない文章を書くことができる - 間違いや不適切さがまれに見られる
7	- 課題の要件をカバーしている (A)主要動向、差異、段階の明確な要旨が記述されている (G)意図が明確に記述されており、統一性のある適切な文調になっている - 重点 / 要点が明確に記述され、強調できているが、詳述の余地がある	- 情報や意見が論理的に整理されており、全体を通じ明確な連続性がある - 適切に様々な接続詞を使用しているが、使用の仕方に過不足がみられる	- 十分に幅広い語彙を使用でき、柔軟性や正確さも認められる - 一般的でない語句を使用でき、表現や組み合わせにも配慮している - 単語の選択・スペルや語形成、またはその両方に間違いが散見される	- 様々な複雑な構文を使用できる - 間違いの全くない文章を書けることが多い - 文法と句読点をうまく使いこなすが、依然として間違いが存在する
6	- 課題の要件に取り組んでいる (A)適切に選択された情報を含む要旨が記述されている (G)文調に統一性が見られない場合もあるが、概ね明確に意図を記述している - 重点 / 要点を記述し、十分に強調できているが、詳細部分が関連性を欠いたり、不適切であったり、不正確であったりする	- 情報や意見の配置に一貫性があり、概ね明確な連続性がある - 接続詞を効果的に使用しているが、文書中や文章間、またはその両方の接続詞が機能していないか、たり、機械的であったりする - 参照が明確でなかったり、適切でなかったりする	- 課題に対する十分な範囲の語彙を使用できる - 一般的でない語句の使用を試みるが、不正確さが見られる - 単語の選択・スペルや語形成、またはその両方に間違いが散見されるが、コミュニケーションを阻害するほどではない	- 簡単な構文と複雑な構文の両方を使用する - 文法と句読点に間違いもあるが、コミュニケーションに支障の出るようなことはめったにない
5	- 課題の要件に大体的に取り組んでいるが、所々の書式が不適切であったりする (A)明確な要旨がなく機械的に詳細を記述し、記述を裏付けるデータが含まれていない (G)手紙は時おり不明確であるが意図が記述されている、文調に統一性がなく、不適切な箇所もある - 重点 / 要点を記述しているが、十分にカバーしきれず、詳細にこだわる傾向がある場合もある	- 情報がある程度整理されて記述されているが、全体的な連続性を欠く - 接続詞の使用が、不十分であったり、不適切であったり、多用しすぎであったりする - 参照や置換が不十分のために重複が見られる場合もある	- 語彙の使用範囲は限定的であるが、課題に最低限必要なレベルである - スペルや語形成、またはその両方にかんがりの間違いが見られ、読み手の理解が困難な場合もある	- 複雑な構文の使用は限定的である - 複雑な構文の使用も試みるが、簡単な構文と比較して不正確になるきらいがある - 文法と句読点の間違いが多く、間違いのため読みづらいこともある
4	- 課題の要件に取り組もうとしているが、重点 / 要点をカバーしておらず、書式が不適切であったりする (G)手紙の意図を明確に説明できておらず、文調が不適切な場合もある - 重点 / 要点と詳細を区別できていない場合もあり、不明確、無関連、重複、不正確な部分がある	- 情報や意見は記述されているが、一貫性を持って配置されておらず、回答に明確な連続性を欠く - 基本的な接続詞が使用されているが、不正確であったり、重複していたりする	- 基本的な語彙のみを重複して使用したりし、課題に不適切な場合もある - スペル、語形成、またはその両方の使用は限定的である - 間違いが読み手に負担を与える場合がある	- 極めて限定的な構文の使用で、複文構成はめったにない - 正確な構文もあるが、間違いが多見され、句読点にもしばしば間違いがある
3	- 課題の要件に取り組めておらず、課題を全く理解できていない場合もある - 十分に意見を記述できておらず、大半が関連性がない / 重複である	- 意見を論理的に整理できていない - 接続詞の使用は非常に限定的で、使用している場合でも、意見間に明確な関連性を示すことができていない	- 使用する語彙と表現が極めて限定的で、語形成やスペル、またはその両方、をうまく操作できない - 間違いによってメッセージが大きく歪曲される	文章の構成を試みるが、文法と句読点の間違いが多見され、意味が歪曲されてしまう
2	回答がほとんど課題と関連性がない	文章を整理する能力がほとんどない	極端に限定的な語彙で、基本的に語形成やスペル(またはその両方)をうまく操作できない	暗記しているフレーズ以外に文章構成ができない
1	回答が課題と全く関連性がない	メッセージのコミュニケーションができていない	片言の言葉しか使用できない	文章構成が全くできない
0	暗記した回答を記述している			

IELTSは、British Council、IDP、IELTS Australia、Cambridge English Language Assessmentの共同所有です。

ライティング評価基準 — タスク2

段階評価	課題への回答	一貫性とまとまり	語彙力	文法知識と正確さ
9	- 課題の全ての部分に完全に取り組んでいる - 回答に対し、関連性のある、詳細で十分な裏づけのある理由を提示し、確固とした見解を示すことができる	- 目立つことなく自然に接続詞を使用している - 段落分けをうまく行っている	幅広い語彙を単語の特徴を生かして自然かつ洗練された方法で使用でき、軽微な誤りがまれに「うっかり起こる」	様々な構文を非常に柔軟にかつ正確に使いこなすことができ、まれに軽微な誤りが「うっかり起こる」
8	- 課題の全ての部分に十分に取り組んでいる - 回答に対し、関連性のある、詳細で十分な裏づけのある理由を提示し、熟考された回答ができている	- 情報や意見を論理的に配置している - 全ての観点から文章を上手にまとめている - 段落分けを十分かつ適切に行っている	- 正確な意味を伝達するために幅広い語彙を流暢かつ柔軟に使用できる - 一般的でない語句をうまく使用できるが、単語の選択や組み合わせに時おり不適切さがみられる。単語の選択や語形成またはその両方に間違いがほとんどない	- 様々な構文を使用できる - 総じて間違いのない文章を書くことができる - 間違いや不適切さがまれに見られる
7	- 課題の全ての部分に取り組んでいる - 回答全体を通じ終始明確な見解を示すことができる - 主旨を示し、詳細と理由を提示できるが、一般化しすぎたり理由の論旨が明快ではなかったりする(またはその両方である)	- 情報や意見を論理的に整理しており、全体を通じ明確な連続性がある - 様々な接続詞を適切に使用しているが、使用の仕方に過不足がみられる - 各段落には明確な中心主題が存在している	- 十分な幅の語彙を使用でき、柔軟性や正確さも認められる - 一般的でない語句を使用でき、表現方法や組み合わせにも配慮している - 単語の選択・スペルや語形成またはその両方に間違いが散見される	- 様々な複雑な構文を使用できる - 間違いの全くない文章を書けることが多い - 文法と句読点をうまく使いこなすが、エラーは依然として存在する
6	- 課題の全ての部分に取り組んでいるが、詳述されている部分とそうでない部分がある - 関連性のある見解を示すことができるが、結論が不明瞭もしくは重複している - 関連性のある主旨を示すことができるが、詳細に欠けたり、不明瞭であったりする	- 情報や意見の配置に一貫性があり、概ね明確な連続性がある - 接続詞を効果的に使用しているが、文書中や文書間(またはその両方)の接続詞が機能していないかたたり、機械的であったりする - 参照が明確でなかったり、適切でなかったりする - 段落分けがされているが、必ずしも論理的ではない	- 情報がある程度整理されているが、全般的な連続性を欠く - 接続詞の使用が不十分であったり、不適切であったり、多用しすぎであったりする - 参照や置換が異不十分のために重複が見られる - 段落形式で記述されていないかたたり、されていても不十分であったりする	- 簡単な構文と複雑な構文の両方を使用する - 文法と句読点に間違いもあるが、コミュニケーションに支障の出るようなことはめったにない
5	- 課題の一部にのみ取り組んでおり、所々の書式が不適切であったりする - 見解を表明しているが、展開が不明瞭であったり、結論が記述されていないこともある - 要旨が記述されているが、限定的であり、展開が不十分で、無関係な詳細が含まれていることもある	- 情報や意見は記載されているが、一貫性を持って並べられておらず、回答に明確な連続性を欠く - 基本的な接続詞が使用されているが、不正確であったり、重複していたりする - 段落形式で記述されていないかたたり、されていても混乱としている	- 語彙の使用範囲は限定的であるが、課題に最低限必要なレベルである - スペルや語形成またはその両方にかなりの間違いが見られ、読み手の理解が困難な場合もある	- 複雑な構文の使用は限定的である - 複雑な構文の使用も試みるが、簡単な構文と比較して不正確になるきらいがある - 文法や句読点の間違いが多く、間違いが理由で読みづらいこともある
4	- 課題の要件には最低限しか取り組んでおらず、回答が的外れで、形式も不適切であったりする - 見解を記述しているが不明瞭である - 要旨を記載しているが、特定することが困難であったり、重複、無関係、理由づけが不十分であったりする	- 情報や意見は記載されているが、一貫性を持って並べられておらず、回答に明確な連続性を欠く - 基本的な接続詞が使用されているが、不正確であったり、重複していたりする - 段落形式で記述されていないかたたり、されていても混乱としている	- 基本的な語彙のみを重複して使用したりし、課題をこなすのには不十分である - スペルや語形成またはその両方の使用は限定的である - 間違いによって読み手が負担を感じる	- 極めて限定的な構文の使用で、複文構成はめったにない - 正確な構文もあるが、間違いが多見され、句読点にも間違いがある
3	- 課題のどの部分にも十分に取り組んでいない - 明確な見解を示していない - ほとんど意見の記載がなく、多くが詳細と関連性を欠く	- 意見を論理的に整理できていない - 接続詞の使用は非常に限定的で、使用している場合でも、意見と意見の間に論理的な関連性を示すことができていない	- 使用語彙と表現が極めて限定的で、語形成やスペルまたはその両方、うまく操作できない - 間違いによってメッセージが大きく歪曲される	文章の構成を試みるが、文法と句読点の間違いが多見され、意味が歪曲されてしまう
2	- 課題にほぼ回答していない - 見解を示していない - 意見をひとつひとつ記載しようと試みているが、詳細が記載されていない	整理する能力がほとんどない	極端に限定的な語彙で、基本的に語形成やスペルまたはその両方を操作できない	暗記しているフレーズ以外に文章構成がない
1	回答は課題と全く関連性がない	メッセージのコミュニケーションができていない	片言の言葉しか使用できない	文章構成が全くできない
0	- 受験していない - 課題に取り組んでいない - 暗記した回答を記載している			

IELTSは、British Council、IDP、IELTS Australia、Cambridge English Language Assessmentの共同所有です。

ペーパーで受験する

IELTS (ライティング・タスク1) の 解答用紙の記入方法



ペーパーでIELTSを受験する場合、解答用紙に解答を記入します。
それぞれのテストの解答用紙の記入例をご覧ください。

氏名を大文字で記入します

受験番号を記入します

モジュールの枠を塗りつぶします

ここにライティング・タスク1の解答を記入します

テストセンター番号を記入します

テストの日付を記入します

使用している用紙の枚数を記入します

BRITISH COUNCIL idp Cambridge Assessment English

IELTS Writing Answer Sheet - TASK 1

Candidate Name PERVIN KARA

Candidate No. 0 1 2 3 4 5 Centre No. 0 0 2 3 6

Test Module ☒ Academic ☐ General Training

Test Date Day 0 2 Month 0 7 Year 2 0 1 8

If you need more space to write your answer, use an additional sheet and write in the space provided to indicate how many sheets you are using: Sheet 2 of 3

Writing Task 1 Writing Task 1 Writing Task 1 Writing Task 1

Do not write below this line

Do not write in this area. Please continue your answer on the other side of this sheet.

23505

QR code and barcode at the bottom.

ペーパーで受験する

IELTS (ライティング・タスク2) の 解答用紙の記入方法



氏名を大文字で記入します

受験番号を記入します

モジュールの枠を塗りつぶします

ここにライティング・タスク2の解答を記入します

テストセンター番号を記入します

テストの日付を記入します

使用している用紙の枚数を記入します

IELTS Writing Answer Sheet - TASK 2

Candidate Name: PERVIN KARA

Candidate No.: 0 1 2 3 4 5

Centre No.: 0 0 2 3 6

Test Module: ☒ Academic ☐ General Training

Test Date: Day 0 2 Month 0 7 Year 2 0 1 8

Sheet 2 of 3

Writing Task 2 Writing Task 2 Writing Task 2 Writing Task 2

Do not write below this line

Do not write in this area. Please continue your answer on the other side of this sheet.

39507

ペーパーで受験する

IELTS (リーディング) の 解答用紙の記入方法



氏名を大文字で
記入します

受験番号を
記入します

モジュールの枠を
塗りつぶします

枠内に解答を
記入します

テストセンター番号を
記入します

テストの日付を
記入します

BRITISH COUNCIL idp Cambridge Assessment English

IELTS Reading Answer Sheet

Candidate Name: PERVIN KARA

Candidate No.: 0 1 2 3 4 5 Centre No.: 0 0 2 3 6

Test Module: ☒ Academic ☐ General Training

Test Date: Day 0 2 Month 0 7 Year 2 0 1 8

Reading		Reading		Reading		Reading		Reading		Reading	
1	isolation	21	not given								
2	economic pressures	22	false								
3	cultural values	23	cognitive								
4	traditional skills	24	emotional problems								
5	E	25	balance								
6	B	26	ill health								
7	D	27	iii								
8	B	28	i								
9	C	29	iv								
10	not given	30	x								
11	yes	31	v								
12	yes	32	iv								
13	A	33	F								
14	C	34	C								
15	true	35	B								
16	false	36	A								
17	not given	37	E								
18	true	38	G								
19	true	39	A								
20	true	40	B								

Marker 2 Signature: _____ Marker 1 Signature: _____ Reading Total: _____

61788

ペーパーで受験する

IELTS (リスニング) の 解答用紙の記入方法



氏名を大文字で記入します

受験番号を記入します

テストセンター番号を記入します

テストの日付を記入します

枠内に解答を記入します

解答を変更するには元の解答を消すか取り消し線を引き新しい解答を書き込みます

この列には何も書き込まないでください

BRITISH COUNCIL idp Cambridge Assessment English

IELTS Listening Answer Sheet

Candidate Name: PERVIN KARA

Candidate No.: 0 1 2 3 4 5

Centre No.: 0 0 2 3 6

Test Date: Day 0 2 Month 0 7 Year 2 0 1 8

Listening Listening Listening Listening Listening Listening Listening

1 Riverbank 2 April 3 5 weeks 4 newspapers 5 internet 6 face to face 7 tip top 8 policy department 9 green 10 bookstore 11 C 12 A 13 G 14 E 15 D 16 H 17 Central 18 3rd floor 19 security 20 tax

21 A 22 C 23 A 24 B 25 C 26 A 27 report writing 28 group 29 interview 30 fee 31 C 32 E 33 F 34 D 35 D 36 poverty 37 leather 38 soil, water 39 diet 40 agriculture

Marker 2 Signature: Marker 1 Signature: Listening Total:

20856

コンピューターで受験するIELTS (リスニング、リーディング、ライティング)の 解答方法



サンプル動画や詳しい情報は <https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/cdielts/>



イントロダクション



コンピューターによるリスニングテスト



コンピューターによるリーディングテスト



コンピューターによるライティングテスト

スピーキングテストのサンプル



スピーキングテストは皆様の英語のスピーキング能力が測定できるよう設計されています。

試験官は、細分化された評価基準を使用して成績評価を行います。スピーキングテストは4つの基準に基づいて評価されます: 流暢さと一貫性、語彙力、文法知識と正確さ、発音。

スピーキングテストの録画をYouTubeで視聴:

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/speaking/> ▼



IELTS受験前のチェックリスト



前もって時間をかけてIELTSの準備をしていきましょう。

初回の試験申し込み前、または再受験の前に、より高いスコアをとるために対策を十分に講じましょう。試験の数週間・数か月前から、下記チェックリストを使用して準備することにより、自信を持って試験に臨むことができるでしょう。

まず最初に	完了したらチェック
試験に登録します。 お近くのテスト会場の検索や試験申し込みは https://jsaf-ieltsjapan.com/ にてご確認ください。	☐
スコアを提出する大学、公共機関、企業、各種団体で必要とされるIELTSのスコアを確認してください。 https://jsaf-ieltsjapan.com/ でIELTSを採用する11,000以上の団体のリストを検索することができます。お探しの組織が見つからない場合は、直接その団体に問い合わせでIELTSの要件をチェックしてください。	☐
英語の上達	
英語の上達には、英語の語学コースを受講するのが最善の方法です。講師からのフィードバックは、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングに必要なスキルを伸ばすのに役立ちます。	☐
IELTS準備コースは、英語の上達とは関係ありませんので、英語の語学コースとは異なっております。IELTS 準備コースは、IELTS テストの問題に慣れるのに役立ちます。IELTS準備コースに関する詳細情報については、お近くのIELTSテストセンターまでお問い合わせください。	☐
毎日英語を使用する	
英語のラジオ、テレビ、映画を視聴し、アメリカ、オーストラリア、イギリス、カナダ、ニュージーランドなどの様々なアクセントの英語を聞くようにしましょう。	☐
英字新聞や雑誌などの出版物を定期的に読みましょう。	☐
可能な範囲で、手紙、メール、メモを英語で書いてみましょう。	☐
友人や家族と英語で話してみましょう。	☐
練習問題を解く	
https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/ で入手可能な無料のIELTSサンプルテストを解いてみましょう。	☐
練習問題、解答、試験官のコメントが掲載されているIELTS 公式練習問題集（2巻を発売中）を利用しましょう。インターネットもしくは近くの試験センターで購入可能です。 https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/ でご確認ください。	☐
IELTS準備対策用書籍が書店やネットで購入可能です。 https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/ で人気書籍を検索してください。	☐
IELTSプロGRESS・チェック（模擬テスト）を受験し、IELTSの専門採点者による評価付き採点結果を受けてみましょう。 https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/progresscheck/	☐
コンピューターで受験するIELTS（リスニング、リーディング、ライティング）のサンプル画面などをみて、事前に試験の準備をしましょう。 https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/cdielts/famtest/	☐
試験前日	
「Information for Candidate booklet」や「受験者への注意事項」を再読し、試験の形式や規則について確認しましょう。	☐
アクセス方法の確認しましょう。集合時間通りに到着できるよう、試験会場への道順を確認しましょう。前日の夜には十分な休息をとり、当日リラックスできるようにすることをおすすめします。	☐
試験当日	
集合時間通りに到着できるよう、試験会場までの移動時間には十分余裕を持って出発しましょう。	☐
パスポートを持参: IELTS申込時に提出したものと同一の身分証明を持参する必要があり、持参しない場合、受験できません。	☐

テスト当日の流れ

テスト当日の流れを把握して、心構えができた状態で到着しましょう。
そして、テストでベストを尽くすことに集中しましょう。

リスニング、リーディング、ライティングは、連続で行われ、常に同じ日に行われます。3つのテストの順番は異なる場合があります。スピーキングテストは、テストセンターにより異なり、同日、もしくは他の3つのテストの前後7日間に実施される場合があります。

IELTSテストは、受験生やIELTSに関係する各組織を不正行為から守るための洗練されたバイオメトリックセキュリティ対策を実施しています。以下は、試験当日の大まかな流れです。

早めの到着

余裕を持ってIDチェックと教室入室ができるよう、試験会場に早目に到着するようにしましょう。受験確認書で、詳細を確認してください。遅刻した場合は、テストを受けられないことがあります。

手荷物について

(宗教上の理由を除いて)テスト教室に私物は持ち込めません。試験日にはIELTSスタッフが、皆様の持ち物をお預かりし安全な場所に保管します。テスト教室で禁止されている持ち物は、腕時計、携帯電話、ノートパソコン、カメラ、帽子、マフラー、財布、本、メモ、食べ物などです。

ID チェック

テスト当日のIDチェックの際には、IELTSスタッフが身分証明書(ID)を確認します。IDは、テスト予約時と同じIDでなければいけません。また、有効(期限切れでない)で、本人であると確認できる写真である必要があります。

試験当日、到着時に写真と指紋のスキャンが実施されます。テスト会場に入る前に、本人確認のためにもう一度指紋認証します。

テスト会場への入場

テスト会場に入る時間になると、IELTSスタッフがみなさんの座席に案内します。メモを取ってはいけません。他の受験者と話してもいけません。質問がある場合は、手を挙げれば、IELTSスタッフが手伝ってくれます。机の上には、透明な容器に入っている水しか置いてはいけません。

休憩

テストのインストラクションが読まれている間や、試験監督官の指示がない限りは席を立ってはいけません。テスト教室を離れてそれ以外の時間にテスト教室を離れてトイレに行く必要がある場合は、手を挙げてIELTSスタッフに尋ねてください。

サポートを求める

何か問題がある場合は(例:間違った用紙が与えられた、指示が聞こえない、または気分がすぐれないなど)、手を挙げてIELTSスタッフに知らせてください。IELTSスタッフは問題の説明を行うことはありません。

試験終了時

解答用紙が回収され、席を立つように言われるまで、座席を離れてはいけません。早く終わった場合でも、テストが終了して解散の指示があるまで静かに待つ必要があります。メモや資料は机の上に残しておかなければいけません。自分の手荷物を受け取り、試験会場を出ます。

試験結果

暫定結果は<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/grades/> で確認出来ます。また正式な結果として成績証明書が発行されます。登録時の指定内容に応じ、成績証明書は郵送、またはテストセンターでの受け取りが可能です。



コンピューターで受験するIELTSの暫定結果:試験日から3~5営業日後



紙で受験するIELTSの暫定結果:試験日から13日後

結果の受け取り

4つのスキル(リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング)の各スコアおよび総合評価としてのオーバーオール・バンドスコアを通知する成績証明書が送付されます。

1(最低)から9(最高)までの各バンドスコア内ではさらに0.5刻みでスコアが表示されます。

結果はオンラインで確認が出来、成績証明書も発行されます。なお電話、FAX、メールでの結果は通知はしておりません。

受験者自身が受け取る成績証明書は1通だけです。成績証明書を再発行することはできませんので、大切に保管してください。テストセンターは、成績証明書を5つまでの団体に無料で送付します。



結果をオンラインで事前確認

ペーパーで受験するIELTSは試験後13日後、コンピューターで受験するIELTSは試験後5~7日後にオンラインで暫定結果を確認できます。オンラインで表示された結果は、正式な成績証明書として使用できません。



アドバイス付きの試験結果

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/grades/>にアクセスすると各セクションごとの暫定結果(バンドスコア)だけでなく、結果のフィードバックと次回の受験に活かせるアドバイスをみることが出来ます。



IELTS 再受験

IELTSの再受験には制限はありません。受ける準備が整ったと思ったらすぐにテストの登録をすることができます。但し、試験を受け直す前に英語力向上のためにある程度勉強しないと、スコアは簡単に上がらないことにも注意してください。詳細は<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/grades/>にてご確認ください。



結果の有効期間

試験を受けてから英語のレベルをキープしている、もしくは上がったという証拠を提出しない限り、通常2年以上前の成績証明書を受け入れることはありません。IELTSテストパートナーは、2年以上経過した試験結果を有効とはみなしません。

The image shows a sample IELTS Test Report Form. It includes fields for Centre Number (GB599), Date (13/FEB/2014), and Candidate Number (000193). The candidate's details are: Family Name (MARTINEZ), First Name (JOHN), Candidate ID (F960242), Date of Birth (28/09/1984), Sex (MF), Country of Origin (AFGHANISTAN), and First Language (AFRIKAANS). The test results are: Listening (6.0), Reading (5.5), Writing (5.5), Speaking (5.5), and Overall Band Score (5.5). The form also includes an Administrator's Signature, Date (20/05/2014), and Test Report Form Number (13GB000123MARJ59A). There are stamps for the Centre (University of Cambridge Local Examinations Syndicate) and Validation (IELTS). Logos for British Council, IDP, and Cambridge English are at the bottom.

試験日から最長2年まで成績証明書は入手可能です。
成績証明書の送付依頼は、テストセンターまでお問い合わせください。



結果についての問い合わせ

試験結果に不服がある場合は、受験したセンターで再採点(結果に関する問い合わせ)を申請することができます。試験日から6週間以内に申請する必要があります。どの試験科目を再採点するかを選択できます。このサービスには手数料がかかりますが、点数が上がった場合には返金されます。再採点の結果が戻ってくるまでには2週間から4週間かかります。

お近くの テスト会場の検索



140カ国にて1,200会場以上のIELTSテスト会場があります。

1. 希望テスト会場の検索



IELTSテストセンターの連絡先の検索や、オンラインでのテストの予約は、<https://jsaf-ieltsjapan.com/>で行うことができます。また、テストセンターによっては、ここから申請書をダウンロードし、直接提出または郵送することが可能です。

2. 登録を行う



JSAF-IELTSテストセンターの連絡先は全て、<https://jsaf-ieltsjapan.com/>で検索可能で、ここからオンラインでのテスト予約を行うこともできます。

申し込みの際、身分証明書の鮮明なカースキャンもしくはコピーを添付し、身分証明書の番号を記載してください。身分証明書は登録時に有効である必要があり、試験当日にも同じ身分証明書を提示しなければなりません。

3. 受験確認書の受領



テストセンターは、受験確認書により試験日時等当日の詳細をお知らせいたします。スピーキングテストは、他の3つのテストと同日または前後7日間に行われます。テストセンターよりスピーキングテストの時間をお知らせいたします。

試験準備に 役立つ情報

IELTSテストの準備に役立つ様々な方法を JSAF-IELTSは提供しています。

IELTSマスタークラスに参加しよう



IELTSマスタークラスは、評価基準、試験で避けたいよくあるミス、試験官が採点時に見る点を理解するのに役立つ無料のセミナーです。

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/webinarevent/> ▶

IELTS公式問題集を入手しよう



IELTSは、試験の形式と質問の種類を理解するのに役立つ公式練習集を2巻発行しています。どちらにもリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングのサンプル問題を掲載しています。

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/free-practice-test> ▶

IELTSプログレス・チェックを受けてみよう



IELTSプログレス・チェックを購入するとIELTSの専門採点者による評価付きのオンライン模擬テストを受けることができます。模擬テストの回答後、5営業日以内にIELTSプログレス・チェックのレポート(IELTSバンドスコアが記載された、専門の採点者による公式なフィードバック)を受け取れます。

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/progresscheck/> ▶

無料オンラインコースにアクセスしてみよう

Practice IELTS for FREE*

Get 30 days
free access



IDP EducationはMacquarie Universityと提携しIELTS受験者のための無料のオンライン準備コースをご用意しました。お申込み後にテストセンターより30日間利用が可能なリンクが送られるのでそこからアクセスしてください。

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/masteronline/> ▶

グローバル コミュニティに参加



実践的で役立つヒントが満載です。

公式ブログを読んでみよう



IELTSエキスパートにより随時更新される公式ブログは必読です。ぜひ読んで、シェアしてください。

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/winning/>



公式YouTubeチャンネルを観てみよう



公式YouTubeチャンネルではIELTSの受験準備に役立つ情報が満載です。テストで成功するための最新のアドバイスやヒントを得るために今すぐチェックしてみてください。

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/advice/>

Facebookの会話に参加しよう



コミュニティに参加しましょう。IELTSの専門家から定期的にアドバイスを受けたり、他の受験生のシェアしている内容から学ぶことができます。

<https://www.facebook.com/JSAFIELTS>



「IELTSアドバンテージ」を観てみよう



IELTSエキスパートのDon Oliver(ドン・オリバー)が解説をする約40分間のビデオでIELTS対策のアドバイスを余すことなく受けられます。IELTSアドバンテージは無料で、今すぐ視聴できます。

https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/useful/seminar_advantage/



Revised: June 2022



PROUD CO-OWNER OF IELTS

JSAF IELTS™

▶ JSAF-IELTS公式テスト受験予約はこちらから
<http://www.jsaf-ieltsjapan.com/>

Test Centre Details

一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF/ジェイサフ)

IELTS公式テストセンター 東京(JP112)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-15 大樹生命高田馬場ビル3F

Tel: 03-6273-9356 Fax: 03-6273-9357

IELTS公式テストセンター 大阪(JP114)

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島5丁目1-1 若杉西梅田ビル701

Tel: 06-6442-1106 Fax: 06-6442-1107

Email: jsaf-ielts@japanstudyabroad.org

www.jsaf-ieltsjapan.com

JSAF IELTS



JSAF-IELTS公式SNSからも
最新のIELTS情報配信中!



JSAF-IELTS公式テストセンター(JP112/JP114)

<http://www.jsaf-ieltsjapan.com/>

JSAF is an official IELTS Test Centre managed by IDP:
IELTS Australia – one of the official owners of the IELTS test.



IELTS™
Official Test Centre